

会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第4回たかまつ男女共同参画プラン策定懇談会
開催日時	平成23年7月22日(金) 13時30分～15時00分
開催場所	男女共同参画センター5階第8会議室
議 題	(1)次期たかまつ男女共同参画プラン(素案)について て (2)その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	時岡会長，蓮井副会長，吉岡委員，滝川委員，石井委員，伊藤委員，渡邊委員，三木委員，津川委員，神納委員
傍聴者	2人 (定員 10人)
担当課および連絡先	企画課男女共同参画推進室(839-2275)

会議経過および会議結果

会議を開会し，次の議題について協議し，下記の結果となった。

(1) 次期たかまつ男女共同参画プラン(素案)について
事務局より説明

(2) その他
今後のスケジュール等について事務局より説明

(会長)
事務局から説明のあった次期たかまつ男女共同参画プラン(素案)について，御質問，御意見等があったら，お聞きしたい。

(伊藤委員)
プラン(素案)の評価指標「男女平等教育の研修会を受講した教員数」の現況値(22年度)が年間72人となっているのに対して，目標値は，述べ280人となっているがなぜか。
また，4年間で述べ280人なので年間70人となるが，この目標値で良いのか。

(事務局)
この評価指標は，教育委員会の方が所管している。今後，少子化により児童が減っていく中で教員数も減っていくことが想定される。このため，各年度ごとに人数を設定するのではなく，プランの計画期間の4年間で平均して年間70人を確保しながら延べ280人を目指していきたい。

会議経過および会議結果

(伊藤委員)

人数に関する目標値は、平成27年度の人口構成なども想定しながら作っているのか。

(事務局)

プラン(素案)では、そういったものも視野に入れている。このベースになるのが高松市の総合計画であり、総合計画の目標もそういった人口減少社会等は考慮している。ただし、内容によっては、今の現況値を目標値にそのまま置いているものもある。

(石井委員)

プラン(素案)の評価指標「審議会等における女性委員の割合」の現況地(22年度)は32.3%となっているが、図3-1「審議会等での女性委員の登用率の推移」では30.4%と異なっている。同じ割合となるべきではないか。

(事務局)

平成23年4月1日現在では32.3%である。図3-1の30.4%は22年4月1日の割合である。

(滝川委員)

プラン(素案)の評価指標「地域コミュニティ協議会における正副会長のうち女性の割合」の目標値を「増加」としているが、私たちコミュニティ協議会においては、その目標を50%として取り組んでいるので、何とか達成できるのではないかと考えている。目標値をもう少し高くしてはどうか。

(事務局)

この目標値については、担当課の方で数字を積み上げていく時に、具体的に積算が難しいので、増加を目指す目標を置いている。このため、今後、担当課と検討していきたい。

(会長)

プラン(素案)の全体の構成と表記についてだが、現行プランより非常に見やすくなっている。文章の中で「目指す」が漢字になっているが、人権擁護の観点から、ひらがな表記の方が良い。

また、文章の中に図の引用表記があるが、表記が統一されていないので統一して欲しい。

(事務局)

プラン(素案)の文章中の表記については、もう一度、見直していきたい。

(渡邊委員)

主要プラン6の「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進」の目標値は、現況値と数値がほとんど変わっていない。何とか目標値を高くしていただけないか。

会議経過および会議結果

(事務局)

担当課のこども園運営課とは、いろいろ協議をしてきたが、積極的な目標はいただけていない。実現可能な数値をどうしても置かざるを得ないので、これ以上は難しい。特に、夜間保育や一時保育などもニーズは高いが増やすのはなかなか難しい。

(会長)

例えば、民間の保育施設を市が運営するのは難しいのか。

(事務局)

プラン（素案）の評価指標における目標値には、公立以外の民間の保育施設も含んでいる。当然、支援をしながら行っているが、民間保育所の体制や人員の問題、市の財政的なものなどから、なかなか踏み込めていない状況である。

(会長)

せっかくファミリーサポート制度があるのだから、ファミリーサポート制度を支援するのは難しいのか。

(事務局)

たかまつファミリー・サポート・センターについては、瀬戸・高松広域定住自立圏の圏域の中で、三木町や綾川町の方にも利用できるようにしている。それには当然、国や市の補助金等が入っており、民間保育所との住み分けをしている。

(会長)

放課後児童クラブの目標値に、受け入れ人数を置くのは少し違うのではないか。例えば、待機児童の解消の数であったり、解消の曜日や時間の長さなどを置くべきだと思う。

(事務局)

学校によっては、ニーズに対してキャパシティが足りなくて受け入れできない学校もあるので、担当課の方で増改築しながら受け入れしていくこととしている。

4年生以上の児童ニーズもあるが、ほとんどの学校では余裕がなく、受け入れることができないので、そこをどうするのかというのを地区のコミュニティ的な所をお願いしていきたいと思っている。

(会長)

主要プラン7の「地域子育て支援センター事業」の現況値19か所に対して、目標値が20か所というのは少ないと思う。いくつかの項目で現況値と目標値が同じものがある。こういう形の目標値は、出す意味があるのか。

今までの委員の言葉も含めて、是非、市の市政として、もう一度検討していただきたい。

(事務局)

検討したい。

会議経過および会議結果

(会長)

次期プランに関するパンフレットは作成するのか。この懇談会でパンフレットについて検討しないのか。

(事務局)

次期プランの概要版（A4 サイズ，両面印刷の全 8 ページ）を作成する予定であり，今後，検討していきたい。

(会長)

最後に，議題（2）その他について，事務局の方から何かありますか。

(事務局)

今後のスケジュール等について事務局より説明

来年 1 月末頃までに次期プランを確定させた後，印刷製本に出していきたい。また，2 月には記念のシンポジウムを開催したい。

(会長)

以上で，本日の懇談会を終了する。